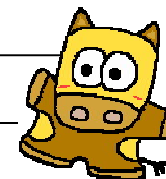


元気で長生き応援団



よっこらせ



第 118号 2014年 1月 8日 (水)

発行

NPOライフケア浜松 ☎ 053-426-0691

浜松市南区恩地町 263

(株)LCウェルネス

デイホーム・ここ倶楽部 ☎ 053-427-3244

浜松市南区恩地町 263

天定まり

新年明けましておめでとうございませう。本年も「よっこらせ」をよろしくお願いしませう。

「天定まって亦能く人を破る」

「(世の中乱れているときは悪がのさばるが) 天の理法が復すれば、悪は滅び、善が栄える」と中国の昔の人が言いました。戦乱のとき人々は悪にだまされ、理性を失って、悪に加担してしまいが、世の中が治まればまた、善きものが甦る、ということでしょう。

今の世はどうなのでしょう。ようか？悪に天の理法は負けて、悪がのさばってはいないでしょうか。だからといって、大声で、正義だと叫ぶのではなく、普通に、平凡に、静かに、善良に生きていく世の中であって欲しい。そのためには平和でなければ。戦争ができるように画策している人たち、平和主義の仮面をかぶっています。詐欺を

働こうと高齢者をねらう邪悪な人もいます。

悪が滅び、善が栄える一年でありますように祈ります。

猫年？

今年が午年。十二支の話も愉快です。猫年ってご存知ですか。時間や日を間違えて来て、仲間に入らなかった人を「あの人は猫年だわ」と言うそうです。十二支を調べていて初めて知りました。

ある元日に、神様から召集がかかって動物たちがやって来ます。牛は自分分のろまを知っていて、早めに出ますが、ちやつかり者の鼠は牛の背中に乗っていきます。



ここ倶楽部 朝市

1月 8日(水) 9:30~

- ・採れたて新鮮野菜
- ・花・野菜の苗
- ・ぬか漬
- ・各種のおいしいお総菜もあり

お誘い合わせて、ぜひお出で下さい

神様の前に来たとき、牛の背中から飛び降りた鼠が一番乗り、というわけ。イノシシは門の前を走り抜けて（猪突猛進）、戻ってきたのでビリになった、というのです。

猫は鼠に「招集日は元日か？」と聞き、「元日から人様の家に行くバカがいるか」と騙されて、二日に神様のところへ。

そこで神様に「顔を洗ってでなおして来い」と叱られます。こうして猫は仲間外れになりました。それ以来、猫は毎朝顔を洗い、鼠を憎み、追いかけるようになって、と。

漫画のトムとジェリーではいつもトム



はジェリーにコケにされて、気の毒ですね。

お話の世界では、鼠はひょうきんで可愛らしいかもしれませんが、現実のそれはあまり愛すべき小動物とは言えないように思います。だいたい今の住宅には鼠はいまいません。鼠を捕まえる猫、と

いうのも聞きません。鼠を見たことがないという人は多いかもしれません。

嫁が君

さらに鼠には「嫁が君」というなんとも優雅でシヤレた異名があります。特に正月三ヶ日には、ネズミ（忌み言葉）とは言

わないで、(葦をヨシと呼ぶように) 嫁が君というようです。なぜそう呼ばれるのか定かではありませんが、もともとネズミは穀物が豊富だから出てくるので、縁起のいいものにとらえる地方もあったようです。愛される呼び方が生まれた理由としては納得できましよう。

餅花やかざしにさせる

嫁が君 芭蕉

餅花（色のついた餅を花のように作る）を引きずっているネズミは髪飾りを着けているようだ、

行灯の油なめけり嫁が君

子規

美味そうに油を嘗めてるネズミ、あまりゾツとしませんね。

さて、午年。過去の午年には大きな自然災害がありました。六十年前の洞爺湖台風は代表的な例です。覚えている方も多いでしよう。小説「飢餓海峡」（映画にもなりました）はこの台風が背景にあります。


ある気象予報士が大胆予想として、悍馬（かんば）の如し、と言つて大災害の多いことを書いています。予想が外れて、災害のない平和な年でありましよう。

ヨンクラメン

メンクラつちやいます。シクラメンのシは忌み言葉だから、ヨンクラメン、だって。新聞に載っていました。やりすぎなように思うけど、いかが？

なお、シクラメンの和名は「豚の鰻頭」（ぶたのまんじゅう）というそうです。理由は後ほど。



◆12月2日 柿狩りへ行ってきました
浜北の柿農園へ柿狩りに行きました。手が届くところに大きな柿がいっぱいになって、みなさん大はしゃぎ、「柿は高い木になっていて竿でとるものだと思っていたよ」「うちの柿の木の葉っぱはもう1枚もないのに、ここのは葉っぱがそのまま残っているね」と楽しそうにはさみでとっていらしゃいました。おみやげは袋へいっぱいの柿。 

◆12月3日 絵をありがとう
頭陀寺幼稚園キリン組の皆さんが来て下さって、豪快な「ソーラン節」を踊ってくれました。もうじき1年生だけあってさすがすばらしい!ご利用者の皆さんも感心して手拍子。絵を描いてプレゼントもしてくれました。

◆12月4日 生姜の佃煮
生姜をたくさんいただいたので、佃煮にしました。スライスした生姜を3回茹でこぼし、調味料で煮詰めます。生姜のいい匂が部屋中いっぱいになって、のどの調子が良くなりそう。おかかのごまで味を整えて出来上がり。ちょっと辛いけどご飯が進みます。

◆12月6日 「雪の降る町」合唱団
歌詞カードも冬の歌に変わりました。皆さ

んで「雪の降る町」を感情こめて歌いました。「ゆ〜きのふる町を〜」「ワワワワ〜」「ゆ〜きのふる町を〜」「ワワワワ〜」まるで「雪の降る町を歌う合唱団」みたい。すてき!!

◆12月7日 皆勤賞のYさん
今日は、ここ倶楽部スタート以来、約11年、ほぼ皆勤のYさんのお誕生日。手作りケーキでお祝い。今日は、みんなにたくさん「おめでとう!」を言ってもらって、終始ニコニコ。「何歳かは内緒。でも、天皇陛下と同じ年」。あら・・・ばれちゃった♪

◆12月13日
今日は一大イベントの餅つき。朝から餅米を蒸すいい匂い。そのうち「ペッタン、ペッタン」の音が鳴り響いて、皆さん総立ち、手返して下さる方も。あんころ餅は200個。お昼はつき立ってお持ちに大根おろしや、きなこや、おのりをかけていただきました。

◆12月16日 手打ちそば
恩地町の遊休地で栽培の蕎麦を、皆さんでいただきました。揚げたて天ぷらもついておいしいこと、「さすが打ち立て蕎麦の

味は違うね」「これで年越しそばは食べなくてもいいね」と。

◆12月18日 定員オーバーの約100人!
松本市主催の「若いときからの認知症予防事業研修会」に参加。実践からわかった地域ケア3つのポイントを、見野が概論を、福園が各論を話し、徳増が会場のみなさんとエアロビテーションをしました。50社近くの一般企業などにも協賛してもらっての事業で、70名定員の研修会に、約100名が参加。大盛況でした。

◆銭太鼓 2013年12月18日
昨日、銭太鼓のぼちへ鈴をつけていただいたので、今日はそれを持って銭太鼓の踊りの特訓をしました。来週の忘年会に向けて、練習、練習。「リンゴの唄」を歌いながら皆さん一生懸命、楽しそうに鈴の音も軽やかに練習しました。



今年もここ倶楽部日記をよろしく